

兼任教員情報公開用（最近5年間の主な業績等）

2023年

氏名	織 朱實	担当科目	環境法Ⅰ、発展ゼミⅠ
学 位			
2003年3月	一橋大学大学院法学研究科博士後期課程修了 博士（法学）		
主 な 学 歴			
年 月	事 項		
1982年4月	早稲田大学法学部入学		
1986年3月	早稲田大学法学部卒業		
1998年4月	一橋大学大学院法学研究科博士後期課程 入学		
2003年3月	一橋大学大学院法学研究科博士後期課程修了 博士（法学）取得		
主 な 職 歴・経 歴			
年 月	事 項		
2003年4月	（研究者教員） 関東学院大学法学部助教授 上智大学大学院 地球環境研究科 教授（現在に至る）		
2015年8月			
1990年1月	（実務家教員） 東京海上火災保険株式会社 入社 東京海上火災保険株式会社 主任研究員		
1996年6月			
2001年2月	東京海上火災保険株式会社 退社		
2005年4月	国立大学法人一橋大学大学院法務研究科 非常勤講師（現在に至る）		
2006年5月	三井化学株式会社 社外取締役（2010年6月終了）		
2006年6月	上海大学招聘教授（現在に至る）		
2011年7月	独立行政法人製品技術基盤機構 監事（2022年6月）		
2015年4月	関東学院大学法学部非常勤講師		
最近5年間の主な業績等			
年 月	事 項		
2010年	『ロースクール環境法（第2版）』共著 松村弓彦・柳憲一郎・荏原明則・小賀野晶一・織朱實（栞成文堂） 33頁～42頁、153頁～163頁、535頁～544頁		
2019年	「参加型リスクコミュニケーション手法の有効性に影響を与える個人差要因の検討」高木彩他、日本食品化学会誌 26(3), 119-124, 2019		
2019年	“Invasive Alien Species Control and Public Participation:Case Study of the Ogasawara Islands,” Akemi Ori, Global Environmental ResearchVol.23 No.1&2		
2019年12月	『ごみから考えるSDGs未来を変えるために、何ができる？』2019年12月織朱實監修、PHP出版		
2020年3月	「島嶼における外来種対策とリスクコミュニケーション：小笠原諸島におけるネズミ対策とリスクコミュニケーションの事例研究」地球環境（15）, 115-131, 上智大学地球環境学研究科		
2020年12月-	連載「わが家のごみ箱はSDGsとつながっている!（第1回-12回）織 朱實、国民生活.ウェブ版：消費者問題		

2021年12月	をよむ・しる・かんがえる (100)
2022年1月	「第20回行政法研究フォーラム——行政法学から考える原発問題の現在」(下山憲治・荻野 徹・田中良弘・織 朱實・大久保規子・山下竜一／著、法律時報編集部／編) 法律時報 94 巻 1 号 (2022 年)
2022年1月	『原子力政策と住民参加—日本の経験と東アジアからの示唆』 田中良弘編著、第2章高レベル放射性廃棄物処分とリスクコミュニケーション pp25-52、第一法規
(参考：外部リンク) プロフィールURL	
	http://www.genv.sophia.ac.jp/research/ori_office.html